

農匠ナビ1000現地検討会・シンポジウム 開催要領（再改定版）

今後 10 年間で全農地面積の 8 割を担い手に集積し、米の生産コストを現状の全国平均から 4 割削減することが、日本再興戦略の政策的目標として設定されている。「攻めの稲作経営」を実現するためには、生産費低減と同時に、輸入米と差別化された高品質・高付加価値化を両立しうる栽培技術・生産管理技術・経営管理技術の体系化・パッケージ化が必須課題となっている。つまり、明確な経営ビジョンと戦略を持ち、それを実現するために最適な技術パッケージを選択・導入し、それを確実に実行できる高い技術力と熟練した技能を有する稲作経営体の確立が喫緊の課題となっている。また、規模拡大の態様は地域の地理的条件によって異なり、地域条件（導入可能な作付体系）や経営規模に応じて適した技術体系も変わるため、地域別にモデル的な技術体系を整理し、生産コスト低減等の効果を実証する必要がある。

そこで、本研究では、30ha～160ha の我が国を代表する稲作経営（農業生産法人 4 社）が結集し、農機メーカーや IT 企業、国立試験研究機関および大学と一丸となって、オールジャパンの産官学の英知を結集して、革新的な次世代稲作技術体系および営農モデルを確立するための大規模実証研究を実施している。

こうした農匠ナビ 1000 研究コンソーシアムの研究成果を、全国の稲作経営者の方々を始め、農業協同組合、行政・普及、企業、研究機関等、わが国の次世代稲作経営の革新を支援する方々に幅広くご紹介し、ご活用頂くために現地検討会・シンポジウムを開催する。

農匠ナビ 1000 コンソーシアム（次世代大規模稲作経営革新研究会）

代表機関：国立大学法人九州大学（研究代表者：九州大学大学院農学研究院・教授 南石晃明）

共同研究機関：(有)フクハラファーム、(有)横田農場、(株)ぶった農産、(株)AGL、ヤンマー(株)、ソリマチ(株)、滋賀県農業技術振興センター、石川県農林総合研究センター、茨城県農業総合センター、東京農工大学、農研機構（中央農研、九州沖縄農研）

研究課題名：農業生産法人が実証するスマート水田農業モデル（IT 農機・圃場センサ・営農可視化・技能継承システムを融合した革新的大規模稲作営農技術体系の開発実証、2014～2015 年度）。本研究は、農林水産省予算により、農研機構（農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センター）が実施する「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業（うち産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立）」の一環である。

主催：農匠ナビ 1000 コンソーシアム（次世代大規模稲作経営革新研究会）

共催：農業情報学会情報利用・普及部会、SIP「次世代農林水産業創造技術」xCLOP コンソーシアム

後援：公益社団法人日本農業法人協会、全国農業協同組合連合会、全国稲作経営者会議、新稲作研究会、日本農業普及学会、滋賀県稲作経営者会議、彦根市認定農業者の会

日時・場所：2015 年 8 月 8 日（土）

現地見学：9:30～11:30、(有)フクハラファーム（滋賀県彦根市薩摩町 339-3）

シンポジウム：13:30～17:00、ヤンマー(株)中央研究所（滋賀県米原市梅ヶ原 2481 番地）

申込方法・期限：

多数の申込を頂き、既に申込定員に達しましたので、申し訳ありませんが、申込の受付は現在行っておりません。

事務局：問合せは、電子メールにてお願いいたします。

九州大学大学院農学研究院・農業経営学研究室

テクニカルスタッフ・松尾真奈美（電子メール：manami.m[アットマーク]agr.kyushu-u.ac.jp）

（メールを送られる際には、[アットマーク]を@に変えてお送り下さい）

（やむを得ない場合には、問合せのみ電話 092-642-2972 も可、平日 10～15 時）

専用バス運行時刻

（※事前申込者のみ乗車可能、交通状況等により前後します。集合場所は末尾添付の別紙参照）

【午前：現地検討会から参加される方】

9：00 JR 米原駅東口出発→9：30 現地検討会会場到着→11：40 現地検討会会場出発→

12：10 シンポジウム会場到着（食堂にてお弁当お渡し※事前申込必要 1,000 円お茶付）

※昼食会場はヤンマー(株)中央研究所食堂。お弁当（1,000 円お茶付）の必要な方は事前に申込をお願い致します。ヤンマー(株)中央研究所周辺には、コンビニ、飲食店等はありません。

【午後：シンポジウムから参加される方】

13：00 JR 米原駅東口出発→13：10 シンポジウム会場到着

【シンポジウム終了後】

17：30 シンポジウム会場出発→17：40 JR 米原駅東口到着

現地検討会&シンポジウムのスケジュール（交通状況等により前後します）

9：00 JR 米原駅東口 専用バス出発（集合場所は、末尾添付の別紙参照）

9：30 現地検討会場到着、検討会開始

11：30 現地検討会終了

11：40 専用バス出発

12：10 シンポジウム会場到着（食堂にてお弁当お渡し※事前申込必要 1,000 円お茶付）

13：00 シンポジウム会場 開場

13：30 シンポジウム開会

17：00 シンポジウム閉会

17：30 専用バス出発（JR 米原駅行き）

現地検討会：テーマ：農匠ナビ 1000 主要成果（※事前申込必要）

①IT コンバイン（ドライブレコーダ含む）、②高密度育苗用田植機、③ディスク駆動式不耕起乾田直播機（8 条）、④流し込み施肥器、⑤営農可視化システム FVS クラウドシステム（水田センサ、IC タグ対応スマホアプリ含む）、⑥農作業映像による技能伝承ツール、⑦稲作ビッグデータ解析による増収および品質向上（収量構成要素からみた増収、外観品質・食味向上）⑧ドローン&無人ヘリコプタ利用による生育リモートセンシング、⑨その他プロジェクトで用いた農機・IT 機器等

シンポジウム：テーマ：次世代稲作経営と経営戦略からみた最適技術パッケージ（※事前申込必要）

農匠ナビ 1000 プロジェクトの目的と成果（九州大学 南石晃明）

近畿地域 150ha 規模経営の戦略と技術パッケージ（農業生産法人 フクハラファーム 福原悠平）

関東地域 100ha 規模経営の戦略と技術パッケージ（農業生産法人 横田農場 横田修一）

北陸地域 30ha 規模経営の戦略と技術パッケージ（農業生産法人 ぶった農産 佛田利弘）

九州地域 30ha 規模経営の戦略と技術パッケージ（農業生産法人 AGL 高崎克也）

大規模稲作経営における収量・品質の向上に向けた栽培技術の現状と課題（九州大学 松江勇次）

大規模稲作経営における経営戦略と生産技術の現状と課題（九州大学 長命洋佑）

総合討議

【別紙】専用バス集合・乗車・降車場所

専用バス集合場所：JR 米原駅東口

(8時30分頃より担当者が待機予定です。余裕をもって集合をお願いします。)

専用バス乗車場所：JR 米原駅東口側バス専用駐車場



JR 米原駅からみたバス専用駐車場